

平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	情報特別演習4(Special Exercises in Media Technologies 4)		授業コード	C175651
担当教員名	坪倉 篤志、津田 克巳、星芝 貴行、坂井 美穂、伊藤 研、福島 学		科目ナンバリングコード	
配当学年	2	開講期	後期	
必修・選択区分	選択	単位数	1	
履修上の注意または履修条件	課題に対する取り組み等を重視します。出席を欠かさないで下さい。 全員、履修してください。(学科推奨科目) 履修制限: 当該学年次のみ履修可、再履修: 不可			
受講心得	授業時はもちろん、学内外での取り組みも重要になります。			
教科書	必要に応じて教員が資料を指示します。□			
参考文献及び指定図書	就職基礎Drill 実務教育出版(2年前期 社会参画応用にて配布) 就職活動の神様の一般常識 問題集 ユーキャン就職試験研究会 他必要に応じて 就職活動の神様の一般常識 速習テキスト ユーキャン就職試験研究会 中3五科(10分間基礎ドリル20) 学研教育出版 就職活動の神様の一般常識これだけ! 一問一答集 ユーキャン就職試験研究会 就職活動の神様のSPI2問題集(ユーキャンの就職試験シリーズ) 就職活動の神様の一般常識「超」定番の1,000問プラス最新時事(ユーキャンの就職試験シリーズ)			
関連科目	各種専門科目、社会参画系授業、情報特別演習(1~8)、研究ゼミナール			

授業の目的	4年間で取り組んでいるキャリア教育プログラムの2年目後期のステップです。将来の実際を見つつ、到達可能な目標に向けて取り組む。実物体験を通して主体的活動能力を習得し、社会を知る。
授業の概要	「一般常識模試」に取り組み、自身の基礎学力能力を捉え、今後の学習計画を立て実行していきます。さらに、企業研究から、自身が目指す企業について、 また様々な講演から、社会の現実を捉えます。さらに前期に引き続き、「グループディスカッション」や「実物体験」等に取り組み、計画性、主体性、自主性に加え、専門業界が、どのように実際の社会の中で活用され、どのように構築・制作されているのか、学習します。 実物体験: 学内外で実施されるイベント・発表会・展覧会・説明会・シンポジウム・企業訪問等での学習。各自で自主的に取り組みます。 主テーマ 将来の実際を見つつ、到達可能な目標に向けて取り組む。実物体験を通して主体的活動能力を習得し、社会を知る。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週: ガイダンス 本授業での取り組みについて説明を行いません。	配布資料。活動報告書。進路希望調査、48か月計画
第2週: ワーク① 一般職業適性検査 将来に向けた様々なワークに、クラス毎や全体で取り組みます。まずは一般職業適性検査から、自身の適性を捉えるためのワークに取り組みます。	活動報告書
第3週: 就活体験談 就職活動で内定を獲得した4年生から、就職活動での取り組みについて教わります。また発表会後には先輩方との交流会・意見交換会にて、質問し、ノウハウを学びます	活動報告書

第4週：企業研究①		
目標とする企業について4回の授業で研究に取り組みます。まずは練習として演習課題に取り組みながら、企業研究の方法について学習します。その後、各自で調査に取り組みまとめます。		活動報告書
第5週：企業研究②		
目標とする企業について4回の授業で研究に取り組みます。まずは練習として演習課題に取り組みながら、企業研究の方法について学習します。その後、各自で調査に取り組みまとめます。		活動報告書
第6週：企業研究③		
目標とする企業について4回の授業で研究に取り組みます。まずは練習として演習課題に取り組みながら、企業研究の方法について学習します。その後、各自で調査に取り組みまとめます。		活動報告書
第7週：企業研究④		
目標とする企業について4回の授業で研究に取り組みます。まずは練習として演習課題に取り組みながら、企業研究の方法について学習します。その後、各自で調査に取り組みまとめます。		活動報告書
第8週：ワーク② 一般職業適性検査 ワーク		
第4週に取り組んだ適性検査の結果から、ワークに取り組みます。検査結果を分析しながら、各自が適性のある分野について捉え、将来の方向性について担任と共に検討します。		活動報告書
第9週：実物体験①		
半期間に各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます		活動報告書
第10週：実物体験②		
半期間に各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます		活動報告書
第11週：実物体験③		
半期間に各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます		活動報告書
第12週：実物体験④		
半期間に各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます		活動報告書
第13週：個別面談		
大学に入学しておおよそ2年が経過、あと1年後に就職活動が始まる時期になりました。このタイミングで担任と個別に面談を行い、これまでとこれからについて、振り返り、検討します。		活動報告書
第14週：ワーク③ 期末小テスト(一般常識・時事)		
就職活動開始を1年後に控え、一般常識テストに取り組みます。規定得点以上の取得が必須になります。また時事問題は体験し、自身の能力を結果から実感します。		活動報告書
第15週：ガイダンス・期末小テストワーク・学習計画		
第14週に取り組んだ期末小テストの結果から、各自の現時点の能力を確認します。結果を踏まえ、1年後に始まる就職活動に向け、改善すべきポイントを捉え、学習計画を立案します。		学習計画
第16週：期末試験		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー II：地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	設定した将来の目標に向け、到達できるよう取り組む。就職活動に向けた準備
【知識・理解】	実践的な就職活動に向けた、知識の習得
【技能・表現・コミュニケーション】	演習を通して集団面接の実践能力やグループディスカッション能力を育成
【思考・判断・創造】	就職活動に向けた実践的な判断ができる

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		15点	5点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	40点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		15点	5点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		15点	5点	
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	レポートの提出、レポートの記載内容
発表・その他(無形成果)	課題やワークへの取り組み